

議会報告会・意見交換会

市議会では、3月定例会の審議内容等について報告するほか、参加者の皆さんから幅広く意見をお聴きする「議会報告会・意見交換会」を開催します。

全会派の議員と直接意見を交換できるチャンスです。ふるってご参加ください。

- 5月8日(日) 午後6時30分～ ユートピアくびき希望館
(頸城区百間町716)
- 5月9日(月) 午後6時30分～ 三和コミュニティプラザ
(三和区井ノ口444)
- 5月11日(水) 午後6時30分～ 清里コミュニティプラザ
(清里区荒牧18)
- 5月12日(木) 午後6時30分～ 高田城祉公園オーレンプラザ
(本城町8-1)

人口減少対策特委 提言とりまとめへ

市議会人口減少対策特別委員会(武藤正信委員長)は12日、5回目の「勉強会」を開催し、提言書の正副委員長案について協議しました。

提言書は、①人口自然減対策、②人口社会減対策、③人口減少社会の中でも豊かに暮らせる社会をめざす対策、の3分野13項目に及ぶ予定です。

今回は25日に特別委員会を開催し、最終提言書をまとめる予定とのことでした。

なお、同委員会に所属する日本共産党議員団の議員はおりませんが、党議員団としては、「地方の人口減少の最大の原因は都市部優先・地方切り捨ての政策を続けてきた自民党政治であり、その変革が必要であること」「何よりも暮らしやすく負担の少ない市政を貫くことが人口定着の第一歩であること」を一貫して主張してきています。

市民プラザのエスカレーター復旧

経年劣化などによる不具合で昨年春から運転を停止していた市民プラザのエスカレーターの修繕が完了し、16日から利用者を運んでいます。

このエスカレーターは、昨年4月21日の安全点検で「運転を続けると事故につながるおそれがある」と指摘され停止しました。そのため、市民からはいつときも早く修繕してほしいという声が出されていました。



日本共産党議員団はこの声に応え、その後の6月議会などで取り上げました。その結果、補正予算で修繕費用が計上され、今回の修繕に結びついたものです。

約1年ぶりの稼働で、市民のみなさんからは喜びの声が寄せられています。

国賠同盟の上越支部が7年ぶりに再建 木崎村小作争議テーマに小日向氏が記念講演

16日、治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟(国賠同盟)の上越支部の再建総会が、市民プラザで行われました。

同同盟は、戦争と暗黒政治の復活を許さないために、1968年に設立され、戦前の悪法で弾圧の被害をうけた犠牲者に国としての責任を認めさせて謝罪させ、国家賠償を行う法律の制定を要求する運動をすすめています。

総会では、「戦争する国づくりと一体の言論・表現の自由を破壊する動きと真っ向対決し、その根源に立ち向かう運動を担う国賠同盟の役割は大きい」ことを確認し



ました。また、国家賠償を求める署名運動、ワタナベコウ氏(漫画家、『伊藤千代子の青春』著者)の講演会を8月7日(日)午後に行うことや、映画「わが青春つきるともー伊藤千代子の生涯」上映会を11月3日に行うことなどを決議しました。

総会後には、講師に同同盟新潟県本部会長の小日向昭一氏を迎え、「木崎村小作争議100周年」をテーマにした講演会が行われました。

同氏の講演では、横暴な地主の下で、収穫のほとんどを小作料として取り上げられる小作農の苦しみや、小作料の引き下げを要求した農民が激しい弾圧の中でも希望を失わずに闘った姿が、切々と語られました。

また、木崎村とともに県内三大争議の一つとして語り継がれている和田村(上越市・妙高市)の争議にもふれ、木崎村には和田村から50人もの農民が応援に駆けつけた記録が残っていることなどを紹介し、地主の無慈悲な振る舞いに立ち上がった農民の勇気と団結をたたえました。

日本共産党上越市議員団ニュース

No.750 2022年4月24日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))